



※快心のVサインならぬ300km/hサインだ。雨さんの顔からは笑顔が消えない



滞した時には、雨さんが新たな記録をつくり最高速トライアルに喝を入れてきたのだ。それは雨さんをはじめ最高速御三家と呼ばれる山本氏、大川氏にしても同じことなのだが、雨さんは最高速トライアルの最古参であり、数え切れないほどのトライアルに欠かすことなく参加してきた。だから誰もが雨さんに大きな期待をかけていたし、雨さんが一番乗りするだろうと思っていたのだ。

300km/hオーバーカーが、HKSM300、バンテラを含めて6台揃った今、「次はオーバー200マイル、約320km/hだ！」

と言われているが、RE雨宮ではここ当分最高速トライアルは見送るという。外野としては2位に終わるのは不本位ではないのか？という気持ちだが、それでも雨さんは満足気である。目標はトップ争いではなく、単に300km/hの数字だったのか？その気になればトップはいつでも狙えるという自信からなのか？とにかく谷田部周回路のバンクを走るあのピンク&ブルーのRX-7は、ここ少しばかり見られなくなる。多分、短かい休暇であるだろうけど…。

今年、RE雨宮は、0-400mにおいてトップランナーを狙う。